

A28 (桜井南部)

【 国宝「十一面観音」 】

～ 聖林寺 ～



聖林寺は、奈良時代に談山妙楽寺（現談山神社）の別院として藤原定慧（鎌足の長子）が創建したとされています。本尊は元禄時代の子安延命地蔵菩薩で安産・子授けの祈願として有名です。この寺が有する国宝の十一面観音像は、一八六八年に桜井市三輪の大御輪寺より移されたものです。明治時代にアメリカ人哲学者のフェノロサや岡倉天心によりその価値が再発見されて以来、この仏像の均整のとれた美しさは、人々の心を魅了しています。

（桜井市 下）

じょうえ